

# 電信電話ことはじめから

欧米からの技術輸入ではじまった電気通信事業  
やがて技術は国際水準へと成長し  
通信サービスは近代化する日本の隅々に広がっていく

The telecommunications business in Japan began with the import of technologies from Europe and the U.S.A.

Before long, the Japanese telecommunications industry came to have world-class technologies, and its services became available country-wide as the nation underwent modernization.

1854年、ペリーが参府に献上した立白のモールス式電信機とともにはじめた日本の電気通信の歴史。開港直後の後、近代国家実現のための重要な事業として、国庫への電信設備の整備が高度な競争に発展しはじめられた。欧米からの技術輸入とその国際化への取り組みの中で、自ら製造技術は昇華と習得をならべるまで成長し、日本独自の発展も生み出された。昇格をリードする自主開発を確立する——その意識は、通信者から電気通信、電電公社、そしてNTTへと受け継がれていく。

# 1850

**1837** (天保8)

アメリカのサムエル・モールズが世界初の電報機を開発し、大西洋を横断する電報線を開通

Code and Messagebook of the Morse's International Telegraphic System  
Morse, S. A. International Telegraph

**1843** (天保14)

ペリーが参府に献上した立白のモールス式電信機

Morse, S. A. International Telegraph

**1844** (弘化1)

アメリカのワシントン—ボストン間で電報が開通

A Messagebook for the Washington and Boston Telegraph, U.S.A.

**1851** (嘉永4)

参府—横浜間の電報線が開通

International Telegraph Office, 1851, vol. 1, pt. 1, the State of Ohio